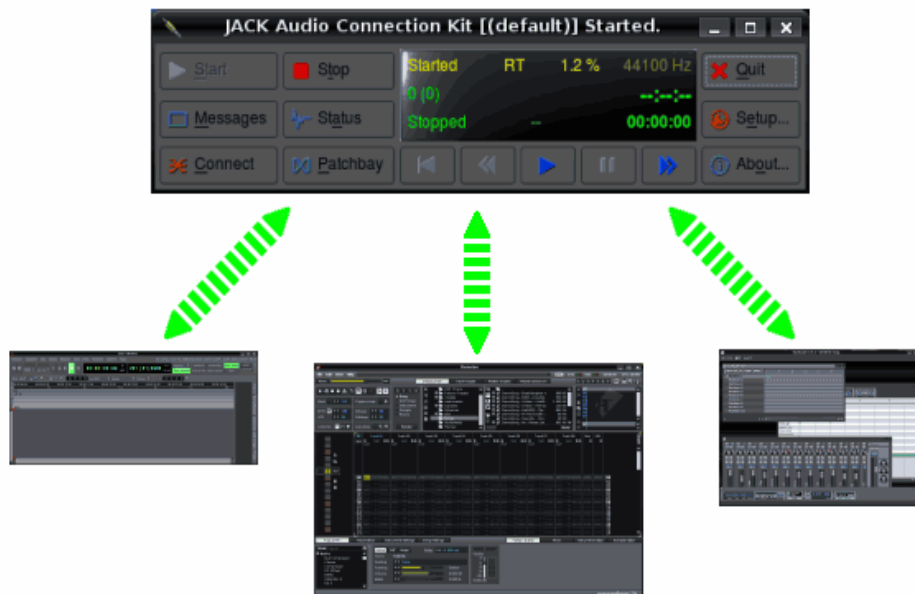


Jack transport の使い方

"Jack Transport" って何？

Jack transport とは、複数の Jack クライアントと Renoise を同期させる事が出来る機能です。Jack transport を介して接続された全てのオーディオ・プログラムを互いに同期させる事が出来ます。Jack を使用するアプリケーションから、スタート/ストップ/再生位置変更などの操作を可能にします。セッションに Jack を使って参加している全てのソフトウェアは、操作に反応し同期します。



Jack transport control には2段階の対応レベルが存在します

Level 1

各 Jackクライアントは、スタート/ストップ/リロケートの操作が可能です。リロケーションとは再生位置の変更を意味します。これは秒かサンプル単位のどちらかで表示されます

Level 2

たった1つの Jackクライアントだけが "time base" をコントロール出来ます。time base とは、テンポ、拍子、ビート・ポジション (拍の位置?) の事です。

大抵のアプリケーションは1つ目のレベルには対応しています。2つ目のレベルに対応しているアプリケーションは現時点では非常に少ないです。もしも "time base" 対応のソフトが複数動作している場合、Jack は自動的にどれか1つのアプリケーションを選択します。

テンポの扱い (テンポ・オートメーション)

テンポ情報は、同期しているアプリケーションが time base に対応している場合に限り、自動で認識されます。しかし上に書いたように、ほとんどのソフトはこれに対応していません。そのため、あなたは手動でテンポを設定する必要があります。

Jack transport を介する全てのアプリケーションが time base を認識している場合でも、全てのクライアントが同じテンポとオートメーションを使っているかどうかを確認しなければなりません。なぜなら、再生位置の変更は "beat time (拍単位)" ではなくサンプル単位で処理されるからです。全てのクライアントが同じ位置にジャンプする為には、同じテンポ基準で動作しなければなりません。

もう少し簡潔に説明しましょう：

ループ情報の扱い

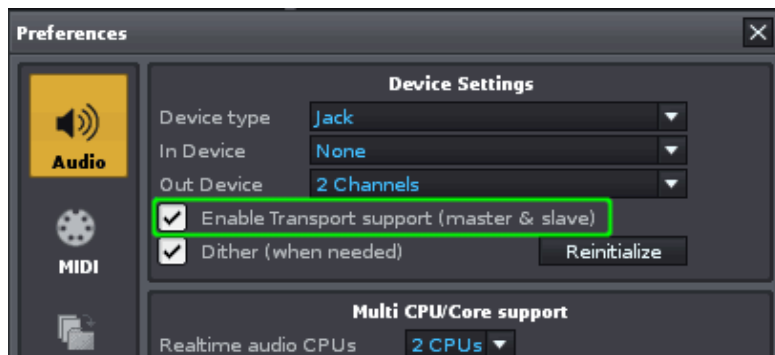
time base にはループ情報は含まれません。各クライアントはそれぞれのループ設定を実行しようとして、他の Jack アプリケーションと再生位置の取り合いになります。この問題を避けるには、現在アクティブな状態のアプリケーションのループ設定を有効にし、その他のアプリケーションのループ設定を無効にします。

PDC と Jack Transport

Jack はレーテンシーを明確に扱う方法を提供していません。Renoise内で PDC を有効にしている場合、Ardour から Renoise へポジション0にジャンプする指示を送ったとします。すると Renoise は "ポジション0 + 全体のPDCレーテンシー" の位置にジャンプして、タイミングを補正しようと試みます。このオフセットは小さなタイミングのズレを引き起こします。もしこのズレが気になる場合、Renoise の PDC を一時的に無効にしてください。

Jack Transport のオン/オフの方法

設定方法は単にスイッチが1つあるだけです。それは Preferences パネルのオーディオ欄にあり、初期設定では有効になっています。



Renoise の Jack transport 対応についての技術的な詳細

Renoise は "time base" の送信/受信が可能です。time base 情報が無くても動作します。もしビート・ポジション情報がある場合は、それを使って同期します。それ以外の場合は、有効な情報の中から "ビート情報を作り出す" 為に、サンプル単位とテンポ・オートメーションを使います。

(■訳者追記■ あまりLinuxに詳しくないので、もしかしたら多少の誤訳があるかもしれません。大体の意味をつかんでください)